

令和3年7月2日
警察本部

信号柱倒壊事案の検証結果と再発防止対策について

1 事案概要

令和3年4月25日(日)、安芸郡府中町の「宮の町5丁目交差点」において、昭和55年設置(経年約40年)の鋼管製信号柱1本が折損して倒壊した。

人的・物的被害はなかったが、復旧作業のため、約4時間の通行止め規制を実施した。

なお、令和2年5月の保守業者による定期点検(目視、打音等)では、構造物の機能に支障が生じていない状態と判定されていた。

2 倒壊事案の検証結果(別添写真参照)

倒壊した信号柱の地際部に腐食の進行を抑える補修シートを貼付していたため、外見からは錆の発生など異常が認められなかったが、地際部から約3cm下方地中部分の折損箇所の大半に錆が生じている状態であった。

そのため、定期点検(目視、打音等)において、腐食の進行の把握に至らず、倒壊したものと考えられる。

3 再発防止対策の実施状況

(1) 補修シートを貼付した信号柱の建替え

地際部に補修シートを貼付した信号柱37本に対しては、早急な建替えを実施する。

(2) 緊急点検の実施

令和3年4月30日(金)から、設置後40年以上経過した信号柱2,915本に対する緊急点検を実施し、腐食等を認めた信号柱に対しては、保守業者による危険度の判定を行い、早急な建替えが必要な信号柱6本から建替えを実施する。

点検結果区分		本数
腐食等あり	早急な建替えが必要	6本
	計画的な建替え又は補修が必要	759本
腐食等なし		2,150本

別添

倒壊した信号柱(令和2年5月11日点検実施時)



倒壊した信号柱(折損箇所)

